

オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査
文化を通じた機運醸成試行プロジェクト 採択案件概要(10件)

○上限 3000 万円案件(4件)

[分野:伝統芸能・工芸]

① 実施団体： 岡崎明治酒場実行委員会

プロジェクト名： 岡崎明治酒場

実施時期： 2018年10月27日

場所： 京都府岡崎エリア(平安神宮、京都市動物園、京都伝統産業ふれあい館、京都モダンテラス、京都市美術館)

プロジェクトタイプ： 国際化・多言語対応

概要： 京都で文化施設が集積する岡崎エリアを使い、岡崎所縁の「明治時代」をテーマに、当時にタイムスリップして遊ぶ夜のお祭を開催。平安神宮、美術館、劇場、伝統産業工芸館、動物園の各施設を、伝統芸能・工芸・和食・日本酒・時代劇・アーティストなど伝統文化に関わる京都人が、自ら明治をテーマに装飾演出しておもてなしする。ゲストは、お酒を片手に各所を巡り、京都人と飲み語る一夜限りの文化テーマパークを遊ぶ。



[分野:生活文化・デザイン]

② 実施団体： 株式会社KADOKAWA

プロジェクト名： Edo×Art 水辺にぎわいプロジェクト ～江戸から未来へ！「すみだ川演芸芸術祭2020」に向けて～

実施時期： 2018年9月 2日、8～9日、15～17日、22～24日、29～30日(計11日間)

場所： 東京都墨田区(隅田川流域)

プロジェクトタイプ： 国際化・多言語対応、バリアフリー対応



©Yasuhiro Suzuki

概要： かつて文化や経済、生活の中心だった隅田川を芸術文化発信拠点として国内外に発信し、日本の歴史文化への深い興味理解を促す。①「水面」②川に架かる「橋」③水面を取り囲む「川岸」と隅田川全体を活用した企画を実行。水面をキャンバスに活用するアート作品「ファスナーの船」の運航、川に架かる橋の下に世界的アーティストがプロデュースを行うアートスペースの開設、障がい者・高齢者等による「現代版うろろ舟(飲食物販売)」を運航し、水面と川岸の交流を創出。

[分野:現代アート・現代パフォーミングアート]

- ③ 実施団体：新宿御苑 OPEN PARK プロジェクト実行委員会
プロジェクト名：新宿御苑 DARK PARK WALKING
実施時期：2018年10月～11月
場所：東京都新宿区(新宿御苑)
プロジェクトタイプ：国際化・多言語対応



概要：「オリンピック・パラリンピックにおける“文化”推進・発信機運の醸成」と「日本の文化発信拠点となり得る空間の活用推進」を目指すプロジェクト。
夜間の新宿御苑に光と音のインスタレーションを設置し、参加者が思い思いに回遊できる3000人規模のアートイベントを実施。
その効果・課題等を整理し、2020年とその先に新宿御苑が文化発信拠点となるために必要な施策について、各方面と学びを共有・議論していく。

[分野:食文化]

- ④ 実施団体：東京ハーヴェスト実行委員会
プロジェクト名：東京ハーヴェスト
実施時期：2018年10月11日～13日
場所：東京都・虎ノ門エリア
プロジェクトタイプ：国際化・多言語対応、バリアフリー対応、国際標準化・国際規格化対応



概要：優れた日本の食文化の普及・発信を行い、オリパラ大会の開催に向けた機運醸成につなげるため、虎ノ門エリアでの「屋台横丁」などの実施を通じて、和食本来の豊かな地域性を外国人に英語・中国語などの多言語で発信したり、GAP/MSC/ASC認証の消費者認知を高めたりするプロジェクト。2020年にはオリンピックとパラリンピックの間の時期の開催を目指し、2021年以降には、海外からも来なくなる、日本の食を体験できるイベントとして、レガシーとなることを目指している。

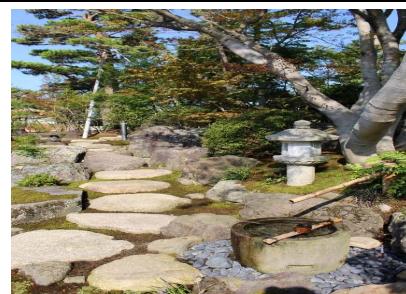
○上限1000万円案件(6件)

[分野:伝統芸能・工芸]

- ① 実施団体：株式会社JTBコミュニケーションデザイン
プロジェクト名：東京2020機運醸成とユニバーサルイベント実現に向けた調査・発信事業 - 万華響 DRUM TAOを切り口に -
実施時期：2018年7月～2019年1月15日
場所：東京都新宿区
プロジェクトタイプ：国際化・多言語対応、バリアフリー対応
概要：ナンバーバルエンターテインメント和太鼓集団DRUM TAOの「万華響」公演を切り口に、言語や障害を越えて、誰もが参加できるイベントのあり方を調査する。本プロジェクトについて取材をしてもらい、海外を含めたメディアで積極的に発信することで、ユニバーサルイベントの実現、日本の魅力発信、ナイトタイムエコノミー消費額の拡大とともに、東京2020機運醸成を狙う。



- ② 実施団体：株式会社電通東日本
プロジェクト名：三条市・さいたま市の広域連携による「庭園・盆栽」の国際ブランド化プロジェクト
実施時期：2018年10月～12月
場所：新潟県三条市、埼玉県さいたま市
プロジェクトタイプ：国際化・多言語対応、バリアフリー対応
概要：三条市保内地区の植栽・造園と、さいたま市大宮地区の盆栽を両市の広域連携のもと、高い技術力やそれを培った歴史等を日本国内はもとより、世界に向け発信していく。世界の共通語になっている「BONSAI」に続き、「TEIEN」を世界の共通語・ブランドとするべく、訪日外国人に対しイベントを通じて情報発信を図る。



- ③ 実施団体：一般社団法人日本花火推進協力会
プロジェクト名：東京オリンピック・パラリンピックHANABI 2020の実現に向けた試行プロジェクト ～視聴覚障害者が体感できる花火の模索～
実施時期：2018年10月13日
場所：秋田県大仙市(雄物川右岸河川敷)
プロジェクトタイプ：バリアフリー対応
概要：All JAPANの名人花火師が集って立ち上げた日本花火推進協力会は、2020年のオリパラ大会と連動した花火大会「HANABI2020」の企画を見据え、その際の重要課題である「障がい者も楽しめる花火大会」の実現を目指す。本事業では大曲の花火大会(秋開催)において、視聴覚障害者がどうしたら花火を体感することができるかについて検証を行う。



[分野:地域文化発信]

- ④ 実施団体：NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構
プロジェクト名：先住民族アイヌ文化交流イベント『カムイモシリ・アイヌモシリ』
実施時期：2018年11月(実施2日間)
場所：北海道釧路市
プロジェクトタイプ：国際化・多言語対応、バリアフリー対応



概要：日本の先住民族であるアイヌ民族が伝承された舞踊、音楽、工芸及び自然と共生する生活思想など、その文化全般をひとつのイベント空間に表現する。世界が注目する2020年をアイヌ文化のパフォーマンスが盛り上げていくことで、多様性を包摂するオールジャパンでの機運盛り上げを実現する。またアイヌ民族の拠点のひとつである釧路市でこれを実現することにより、ひがし北海道へのインバウンドを刺激し、地方活性化に寄与する。

[分野:食文化]

- ⑤ 実施団体：株式会社ブランド総合研究所
プロジェクト名：食のバリアフリープロジェクト（各地でのインバウンド向け食事のハラル、ベジタリアン対策支援プロジェクト）
実施時期：2018年7月～2019年1月
場所：全国6か所(モデル地域の候補:宮城県仙台市又は登米市、栃木県小山市、東京都大田区、長野県大町市、長崎県佐世保市又は大村市、沖縄県糸満市又は今帰仁村)
プロジェクトタイプ：国際化・多言語対応、国際標準化・国際規格化対応



概要：ムスリムやヒンズー教、ユダヤ教には、ハラル、ベジタリアン、コーシャ、ヴィーガンなどの食の規律があり、その理解や対応が不十分だと「食のバリア」になってしまい、和食や日本の食品、食材の素晴らしさを体験し、満足してもらえない。そこで、全国6か所のモデル地域において、こうした「食のバリア」を低減させるための研修・アドバイスをを行い、イベントや祭りでの試験提供などで外国人の反応と評価を調査し、2020年に向けて、実践につなげる。

[分野:障害者・バリアフリー]

⑥ 実施団体：スロームーブメント実行委員会
プロジェクト名：SLOW ACADEMY 2020年オリパラ大会・文化プログラムにおける障害者参加を支える人材育成プログラム

実施時期：2018年9月～2019年1月

場所：東京都内、神奈川県横浜市

プロジェクトタイプ：バリアフリー対応

概要：従来のケアの方法に芸術文化要素を取り入れたいと考える福祉施設職員や、新たに障害者との活動を模索するアーティストたち、障害者の創作活動やアクセシビリティ整備に課題を持つ芸術文化イベント主催者たちをターゲットとした研修プログラムを研究する。この中で、「シルク・ドゥ・ソレイユ」の特別協力のもと、先進的なソーシャルサーカスマethodを取り入れ、各ターゲットの現場において、実証実験や現場検証を重ねることで、日本独自の研修プログラム「スローアカデミープログラム」を開発する。

